

1. 科目名 (単位数)	介護リハビリテーション論 (2単位)	3. 科目番号	SNMP3104
2. 授業担当教員	山下 喜代美		
4. 授業形態	講義:介護実習での自体験例のロールプレイやビデオ画像に基づいた実習などを組み入れ、発表や討論などによる活気ある授業形態	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	人体の構造と機能および疾病、身体構造と機能Ⅰ・Ⅱ、障害の理解Ⅰを修得していること		
7. 講義概要	介護福祉士は、社会福祉士及び介護福祉士法により定められた介護・福祉分野の専門職である。「専門的知識及び技術をもって、身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護を行い、並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行うこと」と定義されている。身の回りの世話をするだけの介護から、高齢者や障害者等の生き方や生活全体にかかわることで、利用者の暮らしを支え、自立に向けた介護を家族と共に実践することへと変わってきている。これからの介護福祉士は、国民の福祉サービスの充実・向上の中心的役割を担っている資格者として、(1)豊かな感性、(2)洞察力・情報分析能力、(3)介護目標・計画の立案能力等が厳しく求められる。またチームケアの一員として高い評価が得られるよう努力することが必要とされる。本科目では、事例をまじえて授業をおこない、専門的な介護福祉士を目指して、知識や技術、チームワークにおける評価等が身につくように学習する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護技術を行うには必須である「人体のなりたちとはたらき」を理解し、簡単に説明することができる。</li> <li>2. 介護リハビリテーションの定義と種類を理解し、説明することができる。 リハビリとは?理解しなければ介護福祉士に不適切となる。</li> <li>3. 介護保険と介護リハビリテーションとの関連を理解し、説明することができる。</li> <li>4. 介護支援専門員(ケアマネジャー)について説明することができる。</li> <li>5. ケアプランについて理解し、介護の目標および計画や他職種との連携の立案ができる。 実践において、最大の必要項目である。</li> </ol>		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多職種連携における介護福祉士の役割と連携の具体的方法について(レポート1200字にまとめる)</li> <li>2. 利用者の意欲を高めるために必要なことは何か(レポート1200字にまとめる)</li> </ol> この他、事前・事後学習に記載されている内容は、必ず行うこと 適宜学習ノートの提出を求めて確認します		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 使用しない <b>【参考書】</b> 学びやすいリハビリテーション論、金芳堂 リハビリテーションからみた介護技術、中央法規出版 介護予防と介護期・終末期リハビリテーション、荘道社		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護技術を行うには必須である「人体のなりたちとはたらき」を理解し、簡単に説明することができたか。</li> <li>2. 介護リハビリテーションの定義と種類を理解し、説明することができたか。</li> <li>3. 介護保険と介護リハビリテーションとの関連を理解し、説明することができたか。</li> <li>4. 介護支援専門員(ケアマネジャー)について説明することができたか。</li> <li>5. ケアプランについて理解し、介護の目標および計画や他職種との連携の立案ができたか。</li> </ol> ○評定の方法 課題レポート 30% 授業態度 (机の上:食物、携帯機器、化粧品用具、カバン・衣類は不可。ノート、筆記用具、教科書・参考書、メガネ、ティッシュは可。私語、他授業のレポート作成、レポート提出及び提出日不履行は厳禁。トイレや遅刻は原則として減点) 30% 期末試験 40%		
12. 受講生へのメッセージ	豊かな感性、洞察力・情報分析能力、計画の立案・作成、実施、評価能力を高められるように、授業には積極的に参加してください。またグループワークでは、お互いに協力し合い、高めあえるような意識を常に持って積極的に参加してください。		
13. オフィスアワー	時間割確定後周知します		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 授業概要の説明とグループ編成 グループ活動の目的について	事前学習	本科目の学習ノートを準備しておく
		事後学習	グループ活動の目的、ルールについてまとめる
第2回	リハビリテーションとは リハビリテーションの概念 4分野、専門機関と職種についての解説	事前学習	リハビリテーションとは何か 調べておく
		事後学習	リハビリテーションの概念、4分野の概要をまとめておく
第3回	リハビリテーションにおける多職種連携 リハビリテーションにおける多職種連携の重要性と連携方法や手段について解説	事前学習	リハビリテーションに関係する職種と職務内容を復習しておく
		事後学習	多職種連携における介護福祉士の役割と連携の具体的方法について (アサイメント①)
第4回	リハビリテーションと介護① リハビリテーションの視点に立った介護についての	事前学習	リハビリテーションの概念を復習しておく
		事後学習	グループでのまとめを作成する

	解説と具体的方法		
第5回	リハビリテーションと介護① リハビリテーションの視点に立った介護の具体的方法について、グループでまとめたものを発表する	事前学習	リハビリテーションの視点から、介護実習での経験を振り返っておく
		事後学習	発表内容の考察
第6回	活動に必要な身体構造と機能について① 具体的な内容をグループでまとめる	事前学習	活動に必要な身体構造と機能を復習しておく
		事後学習	グループでのまとめを完成させ発表の準備をする
第7回	活動に必要な身体構造と機能について② 発表	事前学習	グループでのまとめを完成させ発表の準備をする
		事後学習	発表内容の考察
第8回	介護保険とリハビリテーション 介護保険制度におけるリハビリテーションの位置付け、ケアプランについて解説	事前学習	実習Ⅰで訪問した利用者について復習しておく
		事後学習	生活のニーズとケアプランについてまとめる
第9回	介護予防とリハビリテーション① 介護予防とリハビリテーションについて解説 グループで、介護予防のためのリハビリテーションプログラムを作成する	事前学習	加齢に伴う心身機能の変化について復習しておく
		事後学習	次回の発表に向けて準備する
第10回	介護予防とリハビリテーション② 介護予防のためのリハビリテーションプログラムの発表	事前学習	次回の発表に向けて準備する
		事後学習	発表をふまえ、介護予防とリハビリテーションについて考察する
第11回	介護を要する時期におけるリハビリテーション① 介護を要する時期におけるリハビリテーションについて解説 グループで、介護におけるリハビリテーションプログラムを作成する	事前学習	第6・7回の授業をふまえて、介護が必要となる状態についてまとめておく
		事後学習	次回の発表に向けて準備する
第12回	介護を要する時期におけるリハビリテーション② 介護を要する時期におけるリハビリテーションプログラムの発表	事前学習	次回の発表に向けて準備する
		事後学習	発表をふまえ、介護を要する時期におけるリハビリテーションについて考察する
第13回	終末期におけるリハビリテーション① 終末期におけるリハビリテーションについて解説 グループで、終末期におけるリハビリテーションプログラムを作成する	事前学習	終末期の定義、終末期の経過について復習しておく
		事後学習	次回の発表に向けて準備する
第14回	終末期におけるリハビリテーション② 終末期におけるリハビリテーションプログラムの発表	事前学習	次回の発表に向けて準備する
		事後学習	発表をふまえ、終末期におけるリハビリテーションについて考察する
第15回	利用者の意欲を高めるために必要な支援は何か（討論）	事前学習	利用者の意欲を高めるために必要なことは何かについて、自身の考えをまとめておく
		事後学習	討論をふまえて、「利用者の意欲を高めるために必要な支援は何か」論述する（アサイメント②）
期末試験			